

経営比較分析表（令和4年度決算）

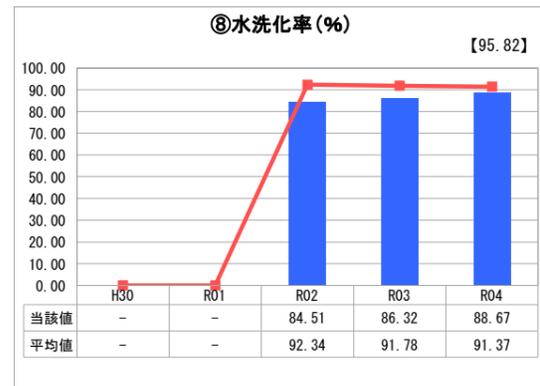
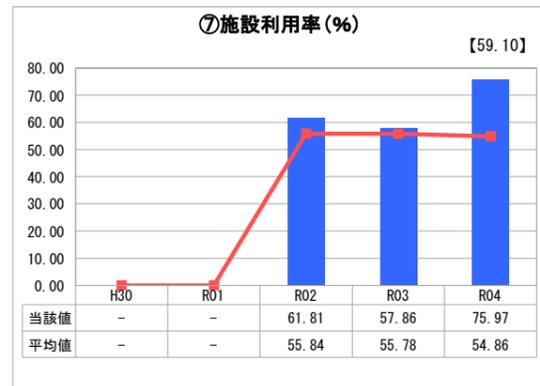
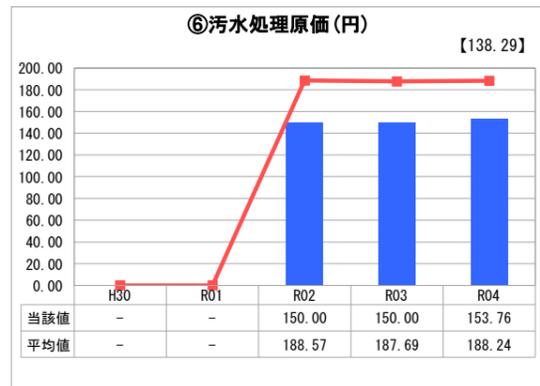
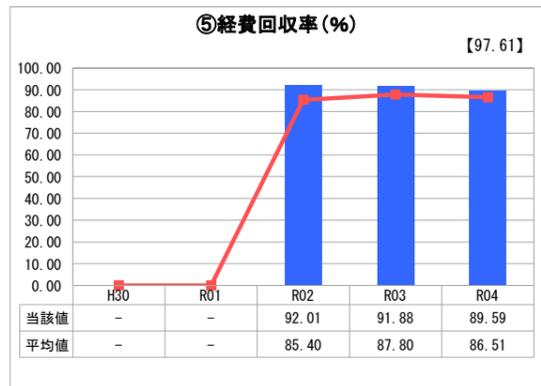
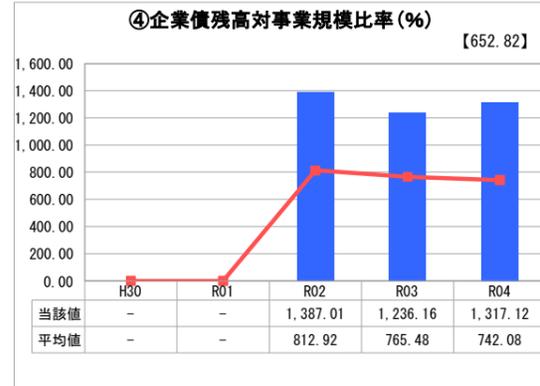
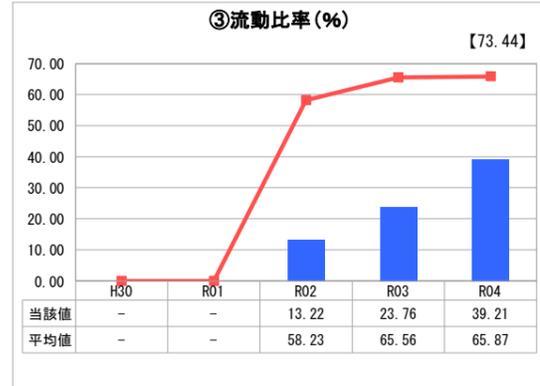
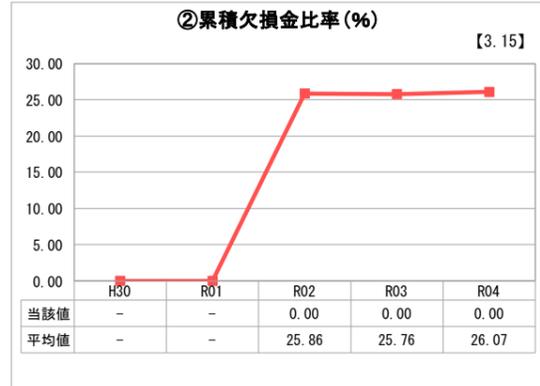
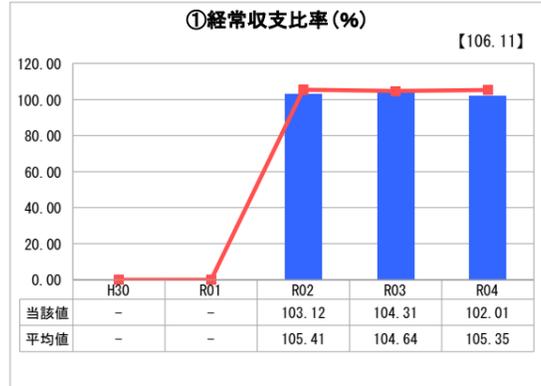
福島県 相馬市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	64.70	52.38	62.18	2,860

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
33,355	197.79	168.64
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
17,322	7.92	2,187.12

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

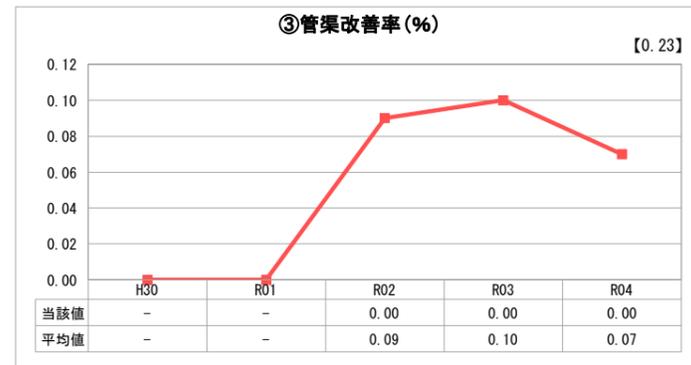
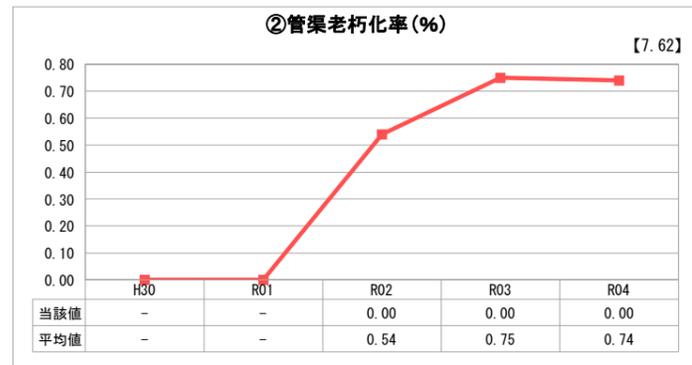
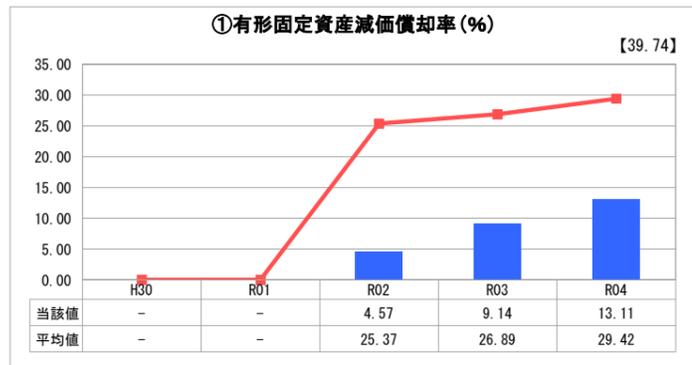
1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度から地方公営企業法の財務適用を行った。
 ①経常収支比率(%)は、単年度収支が100%を超え、一定程度の健全性を確保している。
 ⑤使用料で回収すべき経費を賄えているかを示す経費回収率は約90%であったが、100%以上であることが必要であることをふまえると、汚水処理費のさらなる削減を行う必要がある。
 また①と⑤の結果から、経費が使用料以外の収入で賄われていることを意味しており、適正な使用料収入の確保が必要である。
 ③流動比率は、年々上昇しているが、類似団体平均値と比較しても低く、「1年以内で現金が出来る資産が1年以内に支払う負債を賄っていない」状況を改善するため、支払い能力を高めるための経営改善を図っていく予定である。
 ⑥汚水処理原価は、類似団体平均値を下回っているが、前年度より増加しているため、今後も現状分析を行い、効率的な汚水処理を継続していく必要がある。
 ⑦施設利用率は、類似団体平均値を大きく上回っているが、施設の老朽化や処理水量の動向、有収率の推移等を踏まえながら、適切な施設維持に努める必要がある。
 ⑧水洗化率は徐々に増加しているものの、類似団体平均値を若干下回っているため、引き続き水洗化率向上への取り組みを行う必要がある。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値よりも低い比率となっている。しかし、供用開始から30年を経過している管渠施設もあるため、重要度の高い施設から順次点検・調査を実施し、ストックマネジメント計画に基づき、今後、計画的に改築・更新などを進めていく予定である。

2. 老朽化の状況



全体総括

今後も、資産の長寿命化や汚水処理費の削減に取り組み、維持管理費の適正化や財源確保のため、コスト意識を持ちながら改善に取り組む予定である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。